

事業の課題と実施方法

1 事業の実施内容

(1) 経営診断促進活動

① 目的

6次産業化に取り組む農林漁業者の経営診断や経営分析の実施に当たり、検討委員会を開催し、ケーススタディを通じたスキルの向上を図るとともに、全国的な見地から統一的な活動を行うための方針を策定する必要がある。

このため、6次産業化の先達の中から豊富な知識と経験を有するボランタリープランナーを6次産業化に取り組む農林漁業者等に派遣し、経営発展に向けた課題解決に関する助言活動を実施した。また、これら経営診断手法の策定に反映させるため、経営課題に関するニーズなどの情報を収集した。

② 対象

- 稲作 7社
- 青果 12社
- 畜産 4社
- その他 3社

③ 実施方法

認定事業者に対する経営診断・支援は、6次産業化の先達の中から豊富な知識と経験を有するボランタリープランナーによるチームを派遣し、実施した。

(2) 認定事業者アンケート「6次産業化取組の経営課題」

① 目的

認定事業者が6次産業化に取り組むにあたり、経営発展に向けた問題点・課題を把握すること。また、経営課題の解決に向けたニーズに関する情報を収集し、「経営課題抽出シート」作成の参考とするために実施した。

② 対象

6次産業化認定事業者 711法人

③ 実施方法

郵送によるアンケート

2 検討委員会の開催

本事業を円滑に遂行するために、学識経験者や業界関係者により「経営診断促進事業検討委員会」を組織し、検討及び分析とりまとめを行った。

第1回 平成24年8月31日

- ① 事業の目的・内容・方法について
- ② 成果報告書のとりまとめ方法について
- ③ その他

第2回 平成24年10月15日

経営診断促進活動プリテスト（関東 稲作）の実施

第3回 平成24年10月18日

経営診断促進活動プリテスト（関東 青果）の実施

第4回 平成24年12月13日

- ① 認定事業者へのアンケート調査結果について
- ② 経営診断促進活動の中間報告
- ③ 経営課題抽出シートについて
- ④ その他

第5回 平成25年3月22日

- ① 認定事業者へのアンケート調査結果について
- ② 経営診断促進活動の結果について
- ③ 経営課題抽出の手引きについて
- ④ 報告書の構成について

検討委員会の構成

- 加藤 寛昭 （食と農研究所 代表）
- 木内 博一 （農事組合法人和郷園 代表理事）
- 木立 真直 （中央大学商学部 教授）
- 清野 誠喜 （新潟大学農学部 准教授）
- 小西 博文 （JA紀南営農本部長付 嘱託）
- 紺野 和成 （日本政策金融公庫農林水産事業本部総合支援部 副部長）
- 佐藤 彰一 （有限会社米シスト庄内 代表取締役）
- 竹本 田持 （明治大学農学部 教授）
- 堀田 和彦 （東京農業大学国際食料情報学部 教授）

事務局

社団法人食品需給研究センター

関根 隆夫 (常務理事)

小野 一弘 (主任研究員)

小林 伸吉 (研究員)

江端 一成 (研究員)

図1-1 事業のフロー



